

学校だより

令和3年10月7日

直方市立感田小学校

校長 右田 清二

やっと体育発表会の練習始まりました！

長く続いた緊急事態宣言が、先週の木曜日に解除されました。2学期が始まり、新型コロナウイルスの感染拡大により、本校も学級閉鎖の対応を行う状況になりました。このような中、PTAより非接触の置き型体温計を2台と全学級分の25台の非接触のアルコール消毒器を購入して頂きました。非接触の置き型体温計は登校時に昇降口に設置し、検温を忘れた子どもや通りすがりの子どもたちが検温をしています。検温器の前に髪を上げて立つだけで計れるので、子どもたちもよく利用しています。また、非接触のアルコール消毒器については、各教室の入り口に設置され、教室に入る際に手をかざすだけで適量のアルコールが噴射されます。この2種類の器具によりコロナ対策に大いに役立っています。



さて、今週に入って10月20日（水）に実施される体育発表会に向けて練習を始めています。1年生にとっては、小学校に入ってから大きな行事です。しっかりと取り組み、学級や学年への帰属感を高めてもらいたいと思います。そして、本校が力を入れている自己指導能力（自分も良し、相手も良しの行動を考え実践する力）を付けていきたいと思います。10月に入ってもまだまだ暑い日が続いています。睡眠と朝食をしっかりと取るようにお願いします。また、十分な水分がとれるように、毎日水筒を必ず持たせてください。あわせて、汗をかきますので、タオル等の準備もお願いします。

疑問を持ち続けるサポートをしよう！

本年度のノーベル物理学に、真鍋淑郎さんが受賞しました。真鍋さんのインタビューの中で「長年の研究は、大変だったでしょう」の質問に対して「何も大変なことはありません。なぜ、と言う疑問を持ち、その答えを知りたいと思う一心で、研究を続けてきました。とても楽しかった」と応えていました。

幼い子どもは、何を見ても「なぜ？」「どうして？」と質問をします。そして「どうして、海の水は辛いのか？」「どうして、鳥は飛ぶのか？」など。子どもにとって見るもの聞くものすべてが、謎に満ちています。そして「どうして？」と疑問を持っているとき、子どもはあれこれと自分で「考えている」のです。つまり、

考えるとは、疑問を持ち、その答えを探す過程です。逆に、疑問がなければ、考えることはありません。だから子どもが自ら「なぜ？」と口にした時こそが、考えるための最高のチャンスです。「なぜ」と疑問が浮かんだ瞬間に、子どもの頭の中で思考が働き始めます。言い換えれば考えることは、疑問を持つことです。

「なぜ、空は青いのだろう」と不思議に思ったときに、子どもの頭は回転し始めます。その時大切なことは、回り始めた子どもの思考が、少しでも長い時間続くように支援することです。例えば「どうして、空は青いのだろうね」と子どもの疑問を受けとめて、さらに考え続けるように導くこと。「昼間の空は青いけれど、夜はどうかな」と、次の疑問に導くこと。また、「もし、空が黄色かったら、どうなるだろう」と違った切り口に気づかせることなど。子どもの「なぜ」に、寄り添えば、子どもは自分で考え続けることができます。考える時間を過ごすことで子どもは、多角的に「考える」力を自然に、養っていくことが出来ます。大切なことは、考え続けることであり、そのための考え方を身につけることです。

結果的に、空が青い理由（答え）にたどり着けるかどうかは問題ではありません。何よりも大切にすることは、子どもの「なぜ」です。「なぜ」を引き出し、寄り添いながら、その「なぜ」を広げ、子どもたちの考えることを続けさせることです。そうすると考える力を養うことが出来るのです。（灘学習院の思考教育より）

真鍋さんの受賞から、疑問を持ち、それを解決する努力を継続する大切さを強く感じました。そこで、疑問を持つ大切さを調べ、上記の資料に出会いました。

子どもたちの周りにいる大人が、「なぜ」を受け止め、「なぜ」に寄り添い、「なぜ」を広げ、子どもに考える力を身につけさせるように頑張りましょう。

日が短くなってきました！

日が暮れる時間が随分と早くなりました。これから12月の冬至まで、日の入りがどんどん早くなります。学校の方では、子どもたちには、5時までに帰宅するように、指導していきます。習い事などで、夕暮れ時や暗くなってから帰るお子さんもいると思います。その時に、注意してほしいことが5つあります。

- ① 遠回りしてでも、できるだけ明るい道や人通りの多い道を選んで帰ること。
- ② 防犯ブザーを手に持ち、すぐに使えるようにしておくこと。
- ③ 周りの様子や物音に注意しながら、キビキビと早歩きをすること。
- ④ 歩きながら音楽プレイヤーやスマホなど使用しないこと。
- ⑤ 暗くなると交通事故などに巻き込まれる危険が増すということ。

